

◇あとがき◇

現在、私が所属するのは大学病院ですので、臨床の小児外科医としての立場以外に教育職員として医学生や大学院生の教員として勤務しています。今年に入り対話型 AI ツールが急速に広がり医学部生が対話型 AI ソフトを使用している場面をみかけ、その機能に驚かされます。和英論文の要約・試験問題の作成・表計算の関数の作成・プログラミングなどの確かな条件をつければ瞬時に答えが出ますし日本語の精度もなかなかのものです。

事務的作業の大幅な効率化などよい点があり、その利用法についてわれわれも勉強せざるをえない状況だと考えています。この言語 AI は、最も普及した SNS が 100 万人登録されるのに約 10 か月かかったそうですが、同数の登録者が 5 日間であったことからその急速な普及ぶりが窺えます。現在多くの教育機関では論文査読に論文剽窃チェックツールを使用していますが、対話型 AI では条件づけ次第でその結果が異なるため、ファクトチェックを含めて今後その利用法・対応法に関しては学会・社会全体で検討する必要があります。手術においても現在臓器判定に AI による深層学習で血管・神経・結合組織・尿管などが同定されるようになり、私たちが教育用として導入し始めましたが、将来的には外科医不在の手術も夢ではなくなってきました。

今回は小児外科に関連する症候群を特集しました。われわれが扱う症例のなかには症候群に属する症例が多くありますが、知らない症候群や、学生時代に勉強した症候群の概念や原因遺伝子などが解明・変更された新知見が多くあることに驚きます。今後診断学にも AI が導入されていくことが予想されますが、現段階では言語も画像も人間によるファクトチェックは必要ですし、他に合併する疾患や症候群の予後を理解することはインフォームドコンセントのためにも不可欠であると思われます。本特集では各症候群について最新知見をエキスパートの先生達にご執筆いただきました。皆様の診療の一助になれば幸いです。

(渡井 有)

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1

本郷宮田ビル 5 階

TEL 03-3814-8541 (代) FAX 03-3816-0415

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）東京医科学社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に一般社団法人出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

「小児外科」第 55 巻第 5 号（2023 年 5 月号）

特集 ロボット支援手術

ロボット支援手術の歴史	宇山 一朗
da Vinci サージカルシステム	萩原 優
hinotori™ サージカルロボットシステム	日向 信之
センハンス・デジタルラバロスコピー・システム	佐々木 貴浩
ロボット支援手術と診療報酬	岩中 督
成人領域における現状と展望	三代 雅明
小児領域における問題点と展望	古賀 寛之
小児外科領域におけるプロクター制度	内田 広夫
AI とロボット支援手術の融合	牛丸 裕貴
小児外科におけるロボット手術支援下の麻酔	
胆道手術を基に	林 愛
肝胆膵領域におけるロボット支援手術の educational system	小 薊 真吾
ロボット支援下手術に対する看護師教育プログラム	梅 澤 雄一
臨床工学技士（CE）による da Vinci 手術環境の構築	菅 田 岳 洋
小児外科領域における次世代手術支援ロボット開発—Soft Robotics の可能性	家 入 里 志
新生児外科手術を対象とした手術ロボット開発への期待と展望	高 澤 慎 也
米国に学ぶ小児ロボット手術普及に向けた道のり	矢 田 圭 吾
ロボット支援下手術：各論	
胆嚢・脾臓摘出術	中 目 和 彦
ロボット支援下胆管切除術	牧 田 智
縦隔腫瘍摘出術	古賀 寛之
小児膀胱尿管逆流ロボット手術	水野 健太郎
腎盂形成術	佐藤 雄一
肝切除（ドナー肝）	若 林 剛

名 誉 主 幹
名 誉 編 集 委 員

駿河 敬次郎

秋 山 洋 石 原 通 臣 岩 中 督

大 沼 直 躬 大 谷 俊 樹 角 田 昭 夫

土 岐 彰 長 島 金 二 橋 都 浩 平

山 崎 洋 次 横 森 欣 司

黒 田 達 夫 浮 山 越 史 金 森 豊

北 川 博 昭 越 永 従 道 世 川 修

渡 井 有

編 集 委 員

小児外科

第 55 巻第 4 号

©2023 年 4 月 25 日発行

定価 3,190 円（本体 2,900 円＋税 10%）

編集 小児外科編集委員会

株式会社 東京医科学社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-40-5

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 TEL 03-3237-9112（直） FAX 03-3237-9115

e-mail: shoge@tokyo-igakusha.co.jp

販売部 TEL 03-3265-3551（代） FAX 03-3265-2750

e-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2023 年前金予約購読料 1 年分 49,280 円（本体 44,800 円＋税 10%）
（小児内科・小児外科 合同増刊号を含む）

*送料は前金予約購読の方のみ弊社負担です